

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和2年3月19日(2020.3.19)

【公開番号】特開2019-45250(P2019-45250A)

【公開日】平成31年3月22日(2019.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2019-011

【出願番号】特願2017-167062(P2017-167062)

【国際特許分類】

G 01 L 1/22 (2006.01)

A 61 G 7/043 (2006.01)

【F I】

G 01 L 1/22 Z

A 61 G 7/043

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月5日(2020.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

起歪体と、

前記起歪体に配置された荷重センサと、

前記起歪体を挟む第1部材および第2部材と、を備え、

前記荷重センサは、前記第1部材または前記第2部材から前記起歪体に荷重が作用するとき、前記起歪体のうち、他の領域よりも集中して荷重を作用させる第1の範囲に配置される、身体支持装置。

【請求項2】

前記起歪体には、前記第1部材または前記第2部材に向けて突出する第1凸部が設けられている請求項1記載の身体支持装置。

【請求項3】

前記第1部材および前記第2部材の少なくとも一方には、前記起歪体に向けて突出する第2凸部が設けられている請求項1または請求項2記載の身体支持装置。

【請求項4】

前記起歪体と前記第1部材との間、および前記起歪体と前記第2部材との間のうちの少なくとも一方に配置されたスペーサと、を備える請求項1記載の身体支持装置。

【請求項5】

前記起歪体は筒状であり、

前記起歪体の上部または下部に前記第1凸部が設けられ、

前記起歪体の側面のうち、前記第1凸部に対応する位置に前記荷重センサが配置されることを特徴とする請求項2または請求項3記載の身体支持装置。

【請求項6】

前記起歪体および前記荷重センサが内蔵されたアクチュエータを更に備える請求項1から5のいずれか1項に記載の身体支持装置。